| 学校番号 | 1007 |
|---|---|

# 令和８年度　家庭科

| 教科 | 家庭 | 科目 | 保育実践 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 保育実践　（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇〇保育基礎の学習をさらに応用・発展できる力を学びましょう。
〇子どもを一人の人間として尊重し、より良い保育を創造し地域保育や子育て支援に積極的に協働できる力を養いましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
・子どもの表現活動や子育て支援について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術の習得にむけた実践的・体験的な学習をとおして、科学的な理解に基いた確かな技術を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・職業保育のみならず社会全体で子どものサポートができることは何か、子どもを取り巻く環境の変化に対応した課題解決する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
・保育の充実をめざして自ら学び、保育や子育て支援の実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
・子どもを一人の人間として尊重し、保育を担う職業人として必要な資質・能力を身につけることをめざす。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技術 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 子どもの表現活動や子育て支援などに関する応用発展した知識、および実践活用できる技術を身につけている。 | 子どもの表現活動や子育て支援などについて関心をもって課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。 | 子どもの表現活動や子育て支援などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的・協働的な態度を身につけている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期 | 子育て支援・保育の活動計画 | ・子育て支援と保育<br>・保育の活動計画<br>・児童文化財を活用した実習<br>(制作・実演等) | a:・子育て支援とその関連施設について理解するとともに、保育者の視点で保育計画を立案し、実践活動ができるようになる。<br>b:・子育て支援に関する社会的背景について、具体的な事例から思考を深めるディスカッションとそれらを創意工夫し、まとめ、表現する能力を身につけている。<br>c:・子育て支援の実践に自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度で取り組んでいる。 | ・授業観察<br>・ワークシート<br>・レポート<br>・作品制作<br>・グループワーク<br>・定期考査 | ・授業観察<br>・レポート<br>・作品制作<br>・発表<br>・グループワーク<br>・定期考査 | ・授業観察<br>・レポート<br>・グループワーク<br>・自己評価<br>・相互評価・ |
| 二学期・三学期 | 子どもの表現活動・保育の活動計画と実践 | ・子どもの表現活動の実際<br>・保育の活動計画案の作成と実践<br>・児童文化財を活用した実習<br>(制作・実演等)<br>・保育実習 | a:・子どもの表現活動について理解するとともに、保育者の視点で保育計画を立案し、実践実演活動ができる。<br>b:・表現活動の面白さとその意義や重要性について考え、思考を深めるディスカッションをもとに工夫された表現ができる能力を身につけている。また、活動計画案が作成できる。<br>c:・子どもを一人の人間として尊重した保育を考えながら主体的かつ協働的に取り組む態度で取り組んでいる。 | ・授業観察<br>・レポート<br>・作品制作<br>・定期考査<br>・保育実習 | ・授業観察<br>・レポート<br>・作品制作<br>・発表<br>・グループワーク<br>・定期考査<br>・保育実習 | ・授業観察<br>・レポート<br>・自己評価<br>・相互評価<br>・保育実習 |

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度